東北駆け込み寺

いろは横丁相談室だより

No.35
2023年8月1日

NPO法人キミノトナリ勉強会



7月のオフ会では、NPO法人キミノトナリの東田美香代表をお招きして活動の紹介して頂きました。キミノトナリは、にんしんSOS仙台として、思いがけない妊娠をした女性の支援をしています。予期せぬ妊娠は性教育の遅れも原因として、学校への出前性教育にも積極的に取り組んでいます。
又、「トナカフェせんだい」を開催して金曜日の夜に仙台市中心部で女の子に声をかけ、いろんな年代の女性たちがお茶やお菓子を出したり、話を聞いたりする活動をしています。興味のある方は、駆け込み寺に置いてあるパンフレットをご覧ください。

今年も、いろは横丁に七夕飾りを行いました





公益社団法人　日本駆け込み寺情報

7月3日（月）日本駆け込み寺へ、小倉將信少子化担当大臣が「トー横」視察の一環として来所されました。事務所にて日本駆け込み寺を利用する子どもたちを交え、小倉大臣との対談を実施。歌舞伎町を中心に継続してきた見回りや子ども食堂の経験を通して見えた事、子どもたちの将来の事、子どもたちへの支援制度の事、家族問題やオーバードーズ、ホストの過剰な売掛問題についてなどを話しました。





【日本駆け込み寺の青少年への取り組み】
2022年8月から、様々な事情で居場所のない子どもたちへの支援として、子ども食堂「歌舞伎町みらいカフェ」を開催。延べ1,500人以上の子どもたちに食事を提供してきました。彼らは、世の中への疎外感や大人への不信感を持ちながら、1日1日を生きるために戦っています。提供するたった一食が久しぶりに食べたまともな食事という子どもも少なくありません。私たちは、彼らへの食事提供を通して悩みに寄り添う活動をしています。

コラム　№21　『さっちゃんと私』

先日、母が私の従姉妹と会ったと言っていた。祖父の面倒を見るために実家に帰ったときに、従姉妹も遊びに来ていたそうだ。

小さい頃は、祖父の家でよく一緒に遊んだ。妹ができたようで嬉しくて、別れ際は寂しくていつも大泣きした。最後に従姉妹に会ってから10年近く経っていた。

「これさっちゃんが気に入っている本なんだって。貸してくれたの」と、母が1冊の本を見せてくれた。なんとその本は、私が折に触れて読んでいるものと同じ本だった。辛い思いをしていた時期に偶然手に取り、救われる思いがした。どんな思いでこの本を読んだのだろう。そう思うと胸がいっぱいになった。



もうずいぶん長い間会っていないけれど、心のどこかに同じ感性を持っていたのかもしれない。母に、代わりに私の本を従姉妹に渡してもらうよう頼んだ。「今度会いに行くから。その時にまた本を交換しよう」というメッセージを添えた。　　ようこ

7月の相談状況

【相談内容別】

・ＤＶ	0件
・家族の問題	11件
・ストーカー	0件
・家庭内暴力	0件
・心の問題	8件
・仕事の問題	5件
・生活の問題	3件
・病気の問題	0件
・介護の問題	0件
・ひきこもり	3件
・恋愛の問題	3件
・お金の問題	0件
・その他問題	0件
合計	33件

【年代別】

・10代	0件
・20代	8件
・30代	8件
・40代	7件
・50代	10件
・60代	0件
・70以上	0件
・不明	0件
合計	33件

【男女別】

・男性	16件
・女性	17件
合計	33件

【ボランティア延べ人数　143人】
仙台78人、閖上8人、石巻15人、岩沼17人、岩手25人